

## ロシアの地域政策と極東地域開発の進展

## 極東地域の特徴と困難

## 極東地域及びバイカル地域の特徴

## ・極東地域及びバイカル地域

- ・ **極東地域(極東連邦管区)**: 沿海地方、ハバロフスク地方、アムール州、サハ共和国、サハリン州、マガダン州、カムチャツカ地方、ユダヤ自治州、チュコト自治管区
- ・ **バイカル地域(シベリア連邦管区の一部)**: イルクーツク州、ザバイカル地方、ブリヤート共和国。

## ・極東・バイカル地域の特徴

- ・ ロシア全体に占める面積は **45.2%**、人口は **7.8%** (約 **1102万人**: 極東地域 640万人 / バイカル地域 458万人)。  
1平方キロあたりの人口 **1.4人** (ロシア全体は 8.3人)。人口はソ連崩壊以来 **ロシア平均を上回る減少率**が続く。
- ・ GDP のロシア全体に占める割合は 5.8%程度だが、**豊富な天然資源**が存在。錫の 100%、ダイヤモンドの 98%、金の 67.5%、水産物の 65%など。イルクーツク・サハリン等の石油・天然ガス資源生産が増大する見込み。
- ・ ロシア他地域との間、および地域内において、**輸送・エネルギー網**が未発達。GDP あたりのエネルギー消費がロシア平均の 1.8 倍。

## ソ連期における極東開発

- ・ 国家による優遇措置によって**ソ連の他地域から移民**を奨励。人為的に各都市に労働力を配置。
- ・ **非鉄金属、林業、漁業**の三つの採取産業が極東地域の「特化部門」。地域内では加工産業は発達せず、ほとんど**加工のまま他地域に移出**。地域内で消費される製品の多くは他地域からの移入に依存。一般消費財の 80%は他地域からの移入 「国内植民地」としての性格。
- ・ **軍需産業**が集中。特にハバロフスク地方と沿海地方では 1989年の企業の商品生産総額のうち軍需産業の生産が 25%。  
→1960年代には**国家による大規模投資**により特化部門を中心に経済が急成長したが、70年代後半以降、著しく停滞。  
1980年代、地元の学者・経済管理者は、**資源採取産業の近代化と加工産業の発展**による付加価値化、**アジア太平洋地域向け輸出の拡大**により、**地域の経済的自立性を高める**という戦略を提起。ゴルバチョフのイニシアチブにより期待が高まったが、ソ連末期の混乱、財政難により頓挫。

## 90年代の停滞と政治・社会の混乱

## ・90年代における経済・社会の落ち込み

- ・ **国家補助の削減**とハイパーインフレ進行による**輸送・エネルギーコスト高騰**。  
軽工業品や消費財等の深刻な不足。極東地域の製品のコスト上昇。競争力を持たなくなる。
- ・ 国家発注の激減による軍需産業への打撃。エネルギー供給の不安定化。人口流出の進行。
- ・ **対外的脆弱性・脅威感の高まり、闇経済の拡大と地域経済・社会・政治の「マフィア化」**
  - ・ 極東地域経済の停滞が深刻化する一方、資源の切り売りで中国からの安価な製品輸入に依存、中国から商人など大量の入国者 **対外的な脆弱性**の意識が強まる。  
「我々は国際経済における原料供給の付属物の地位に甘んじなければならないのか？」  
「中国はロシアの東部地域に向かって『静かな拡大』を行っている」
- ・ 90年代初頭には沿海地方・ハバロフスク地方・サハリン州などの「学者政権」が、地方主導で外資導入を通じた発展戦略を進めようとしたが、93年ごろを境に「学者政権」が退陣。地方政府は**地元政治・経済エリートの権益確保**の姿勢を強め、外部資本に対する行政的障壁を形成。
- ・ 中国、韓国、日本をはじめとするアジア太平洋諸国との経済関係拡大。  
魚介類の取引、日本からの中古自動車輸入、中国との担ぎ屋貿易等において**闇経済が拡大**。  
闇経済と**地元政治・行政との結びつき**の強まり。組織犯罪グループの拡大。

## ・不安定な中央・地方関係と地域政策

- ・ エリツイン政権の地方リーダーに対する弱さ。地方の法保護機関への中央のコントロール低下。連邦財政の逼迫。政治的取引に依存した中央・地方関係。有効な地域政策を行う連邦中央の能力の欠如。
- ・ 1996年版「極東ザバイカル地域発展プログラム」
  - ・ エリツイン再選を賭けた大統領選前の、極東地域の諸地方に対する「アメ」という性格。
  - ・ 財政・制度上の根拠が希薄。連邦政府は支出義務をほとんど果たさず、執行率は8%にとどまる。

## プーチン政権における集権化と極東開発

### プーチンによる「垂直的権力」と極東開発に向けた意欲

- ・ 「連邦管区」設置...大統領全権代表を長とする全権代表部の設置、法保護機関を始めとする連邦機関の支部を設置 →各地の法保護機関への連邦の統制を回復させる意図。
- ・ 知事たちの専横によってロシアの経済・社会発展が著しく阻害されているという認識。
 

「地方機関が穀物移出を禁じたり、アルコール製品の販売を制限したり、『よそ者』の銀行の支店の開設を妨害したりする事例が、まだ頻繁に見られる。**資本、商品、サービスの自由な流通に対して障壁が築かれている**」

「経済的自由の制限を目的とする地方権力のいかなる行動も、憲法違反として阻止されなければならない。それに責任を持つ幹部は罰されなければならない。**地方は、権限ではなく投資と労働資源の誘致をめぐる競争しなければならない**」(2000年大統領教書演説での発言)
- ・ 停滞と人口流出の続く極東地域に対する危機感、極東の連邦構成主体間の協力の欠如の指摘。
 

「**真剣な努力が払われなければ、数十年後には〔極東地域の〕現地の住民は日本語や中国語、朝鮮語を話すようになるであろう**」

「(極東地域では連邦構成主体間の)内的統一性、経済関係の欠如、そして、正常なパートナー契約が、しばしば指導者間においてさえ欠如している」「(全権代表のイニシアチブの下で)この地域を、領土間で弱く結びついたコングロマリットから、**統一的な組織体へと変えること(が必要)**」「政府は諸地域に注がれた**全てのリソースの集中**に関する問題を優先課題として再検討しなければならない。その分散ではない。これについて、**連邦管区の新しい統治の可能性が動き始めることが必要である**」(2000年7月ブラゴベシチェンスクでの会議における発言)

### 極東地域開発に向けた動きとその限界

#### ・「極東ザバイカル地域発展プログラム」の改訂(2002年)

- ・ プーチンは経済発展貿易省に対し、プログラムを「執行可能」な形に改訂するよう委任。
 

しかし、**連邦予算からの財政負担はプログラムの支出額の8.4%に抑えられ、特に極東経済の発展の最大の阻害要因である輸送インフラ整備への予算配分は低く抑えられる**。プログラムの執行率は43%にとどまる。

#### ・地域政策における「拠点地域」重視の考え方...「地域社会経済発展戦略のコンセプト」(2005年6月)

- ・ 「地域発展レベルの平等化」という方針を放棄...「市場化への適応において遅れをとった地域」への支援を重視した「財政平準化」政策は、「期待された結果をもたらしていない」。
 

「リーダーとなる地域は発展へのモチベーションを失い、遅れた地域では被扶養者の傾向が現れ始めた」
- ・ 経済的効率性重視の観点から先進的地域の発展を優先。「実質的な経済発展の確固たるテンポの保障」「世界におけるロシアとその諸地域の競争的ポジションの強化」等を地域政策の目的とする。
- ・ 「連邦地域政策の原則」の第一に「分極的(あるいは集中的)発展の原則」が挙げられる。
 

「**地域発展レベルの平準化の政策に代わり、財政的、行政管理的、人的その他のリソースを『拠点地域』(成長の『極』、『原動力(ロコモティブ)』)に特別に集中させ、続いて他の地域にイノベーションの積極性が伝播することを想定する**」
- ・ 後進地域への支援は「地域のイニシアチブを促進する諸措置」に向けられるべきとされ、もっぱら地域レベルの自助努力を補助する範囲にとどめる
 

「諸地域への財政支援は転換しなければならない。...停滞した地方には経済成長の保障と税基盤の拡大を志向させなければならない」「地域発展の統一性ある戦略的優先性の範囲で、**地方のイニシアチブに対する選択的な財政(補助)支援**がなされるべきである」

## 極東地域開発の本格化

### 地域政策の転換

#### ・プーチン演説「2020年までのロシア連邦発展戦略」(2008年2月)…「地域間格差是正」への転換

「今日にとって特徴的であるのは、**諸地域の社会・経済発展の間の、巨大な、ますます強まりつつある分化**であり、そこにおいては低い実績を持つロシア連邦構成主体の数が圧倒的である。事実上大多数の基本的パラメーターによれば、連邦構成主体間の格差は桁違いであり、数十倍に達している。」

「数年以内に我々は、**ロシア連邦構成主体の、形式的ではなく、実質的な同権性**、すなわち、市民のしかるべき生活条件の保障、地域経済の複合的発展と多角化のために必要かつ十分なリソースを各地域が持てるような同権性を保障することに向けられた、**地域政策の新たな段階**に移行しなければならない。」

「ここで重要な役割を果たすのが、**沿ヴォルガ、ウラル、ロシア南部、シベリア、極東における社会・経済発展の新しいセンターの形成**に関する作業、および、**イノベーションをもたらず領土的生産コンプレックス網の創造、輸送・エネルギーインフラの完全化**である。バランスのとれた領土的な政策だけが、全国家の調和的な発展を保障すると信じる」

#### ・「2020年までのロシア連邦の長期的社会経済発展のコンセプト」(2008年11月)

- ・第7章「地域発展」の章において、プーチンが示した上記の方針の下、各地域の経済・社会発展における「インフラ上・制度上の制限」を、連邦の支援を通じて克服していくという点に重点を置く。
- ・各連邦構成主体に「**先導的發展区域**」( зона опережающего роста )を形成・発展させ、これを通じて各地域における「イノベーション的・社会志向的發展」を実現させることを重視。
- ・こうした「先導的發展区域」の発展と調和させた形で、連邦による輸送・エネルギー・通信その他の**生産・社会インフラの整備**を進める。

#### ・「ロシア連邦の地域政策の完全化のコンセプト」(2008年より策定、未承認)

##### (1)「地域間格差の縮小」の課題を前面に出す

- ・「地域政策の基本的方向性」…「諸連邦構成主体のバランスのとれた社会・経済発展、諸地域の社会・経済状態と生活の質における地域間分化のレベルの縮小」。「市民のしかるべき生活条件の保障と諸地域の経済の競争力向上のための、必要かつ十分なリソースを、各地域が持つことを可能にする条件を保障する」。

##### (2)「戦略的計画策定のシステムの完全化」を通じた国家支援の必要性

- ・ロシアでは各連邦構成主体が自立的に社会経済発展を実現していく環境整備のための支援を国家が行う必要がある、という認識の下、その支援をより戦略的・計画的に行う必要性を指摘。
- ・「**諸連邦構成主体の発展のための条件**を、その競争優位を考慮して創り出す」という目的の下に「**輸送・エネルギー・通信・保健・教育・科学・文化・対外経済活動の領域、及びその他の領域の連邦的インフラ**を配置する」。
- ・各連邦構成主体に「高い付加価値を持った生産物を生産するための長期的な領域的生産クラスターと統一的な肯定経路の形成」が行われる「**先導的な経済発展ゾーン**」を創出する。
- ・「先導的な経済発展ゾーン」の基礎として「**イノベーション的経済成長のセンター**」をピックアップ 「現代的なコミュニケーション技術と人的・技術的ポテンシャルの集中に基づき、領土的な移住の構造と労働資源の分配を転換させることに本質的な形で影響を与えるような、特化領域の新しいセンター」。
- ・先進的な科学技術や教育・科学が発展し、ビジネス・サービス分野の発達した「**大規模都市集積**」。
- ・都市化された地域で優先的な経済領域での先進的な生産が行われ、あるいは未開拓の地域であっても資源の高度な加工が行われている「**領土的生産クラスター**」。
- ・ユニークな自然条件や文化遺産、伝統文化を持つ「**観光レクリエーション区域**」。
- ・「**大規模な輸送ロジスティック拠点と生産コンプレックス**」、など。

##### (3) 連邦構成主体・地方自治体行政の「責任」の強化

###### 財政的「分権」の一方で、地方への政治的コントロールを維持

- ・「連邦レベルに財政システムの税歳入減があまりにも集中している」、「**バランスのとれた権限分割が必要**」として、**合理的な財源移譲**を通じて、**各連邦構成主体・地方自治体財政の自立性・安定性**を高める必要性を指摘。
- ・他方で、「連邦中央から供与される財政支援のしかるべき執行」に対する**連邦構成主体・地方自治体の「責任」を高める**ことを強調。連邦構成主体・地方自治体政府に対し、連邦構成主体・地方自治体政府に対し、地元の

社会・経済発展レベル向上に向けた刺激（стимул）を作り出すための「モチベーションのメカニズム」を形成することが、今後の戦略的な方向性の一つとなる。

- \* 「地域レベルにおける**社会経済プロセスのモニタリング**」の強化、「**最良数値達成の促進・奨励**」を目的とした連邦構成主体へのグラント割り当て」のルールを策定。

#### ・地域発展省の強化

- ・2007年9月、大統領府長官、南連邦管区全権代表などを歴任したコザクが地域発展省大臣に就任し、経済発展通商省のグレフ大臣が退任。経済発展通商省から地域発展省への一連の機能（投資基金による国家支援や連邦特定目的プログラム、住宅公益事業管理再編協力基金の管理など）の移管、人員の異動。

#### 極東地域開発の本格化

##### ・2000年代後半における連邦政府の極東開発本格化の背景

- ・2000年代に入ってから**の原油価格高騰による連邦財政の潤沢化**。
- ・欧州向けに偏重していた**石油・天然ガス輸出の多角化、アジア太平洋地域向け輸出強化**の必要性。
  - ・2006年より**東シベリア・太平洋（ESPO）パイプライン**建設開始。パイプラインの終点となる沿海地方・コジミノ小湾に石油ターミナル建設。2010年1月、石油輸出開始。
  - ・「**東部ガスプログラム**」の立案。2009年より、サハリンからハバロフスクにつながる**天然ガスパイプライン**をウラジオストク近郊のフォーキノへと延長させ、LNG基地を建設するための工事開始。
- ・豊かな天然資源を有し、アジア太平洋地域との交流拡大の可能性を持ちながら、経済・社会の停滞によって人口流出が続く、「**極東を失う**」懸念さえ生じている極東地域の開発を強化し、**住民の定住化**を図る必要性。
- ・**アジア太平洋地域における政治的・経済的プレゼンスの強化**の必要性。

##### ・国内における極東開発に向けた態勢の形成

- ・2005年11月、「**統一ロシア**」第6回党大会（於クラスノヤルスク）…シベリア・極東地域開発の問題をテーマとして開催。統一ロシアがこの地域の社会・経済の刷新と近代化に向けた大規模プロジェクトの実現にイニシアチブをとり、同地域を対象にした連邦の特定目的プログラム・投資プログラムの実施を保障することなどを決議。
- ・「**極東国際経済フォーラム**」の年次開催（2006年～）
- ・2006年11月、**2012年のAPEC首脳会議をウラジオストクで開催**するというロシア政府の意向が明らかにされる連邦予算からの大規模投資によるウラジオストク開発へ。
- ・2006年12月**安全保障会議**におけるプーチンの発言
  - ・4年前のプログラム改訂にもかかわらず「**極東の状況の質的変化はまだ起こっていない**」、それは「**この地域の戦略的計画策定へのシステムの、複合的視点が欠如していた結果**」であり「**我々の地域政策の不完全性の結果**」であると表明。「**極東の発展が成功する決定的なファクターの一つは、全てのレベルの権力、つまり地方自治体、連邦権力機関、地方権力機関の、権力のコーディネーションの向上である**」。
  - ・「**極東の経済空間は組織的犯罪や汚職の抑圧から守られなければならない**」、「**連邦管区における法保護機関の業務内容を向上させる措置**」を機能的にとらなければいけない」この面で「**連邦政府と地方政府の協力**」が重要。
- ・2007年1月、プーチンはウラジオストクの大規模開発の意向を表明。「**極東・ブリヤート共和国・イルクーツク州・チタ州の社会経済発展問題に関する国家委員会**」を創設。

##### ・集権化の進展

- ・2005年以降、**連邦構成主体行政府の首長の公選制廃止**。事実上の大統領による任免が可能となる。
  - ・**コリヤーク自治管区**：2005年3月、ロギノフ知事が、暖房・エネルギー問題を解決できなかったことから大統領の信任を失い辞任。後任には副知事のコジェミヤコが就任（ただしコジェミヤコは同自治管区とカムチャツカ州の合併と同時に知事を辞職）。
  - ・**アムール州**：2007年5月、知事自身と幹部の汚職疑惑が続いていたコロトコフ知事がプーチンの信任を失い解任。後任にはタタールスタン共和国議会議員であったコレソフが就任。コレソフは汚職問題や選挙運動での共産党への妨害問題などで批判が集まり、2008年10月、自ら辞任。後任にはコリヤーク自治管区知事であったコジェミヤコが就任。
  - ・**カムチャツカ地方**（2007年7月にカムチャツカ州とコリヤーク自治管区が合併）：2007年5月、7月にコリヤーク自治管区との合併を控えたカムチャツカ州のマシコフツェフ知事が自ら辞任。マシコフツェフは共産

党寄りの姿勢をとり、連邦中央の極東政策を批判していた。元々はサンクトペテルブルクのビジネスマンであったクジミツキー副知事が同州知事、さらに7月には新たな「カムチャツカ地方」の知事となる。

- ・ **サハリン州**：2007年8月、副知事の汚職やネベリスクの地震への対応などで連邦中央や全権代表から批判を受けていたマラホフ知事が自ら辞任。後任のホロシャーピンは元オハ市長。
- ・ **チュコト自治管区**：2008年7月、アブラモビッチ知事が大統領に辞職を求め受理される。以前からプーチン大統領にも辞任の希望を伝えていた。地元からの要請で自治管区議会議員補欠選挙に出馬し96.99%の得票率で当選。同議会議長に就任。
- ・ **ハバロフスク地方**：2009年4月、1991年以来知事であったイシャーエフが極東連邦管区大統領全権代表に転任。後任には同地方副首相のシポルトが就任。
- ・ **ユダヤ自治州**：2010年2月、1991年以来知事であったヴォルコフが任期満了で退任。後任は前ピロビジャン市長のピンニコフが就任。
- ・ **サハ共和国**：2010年6月、2002年以来大統領であったシティロフが自ら辞任。後任には前共和国首相のボリソフが就任。
- ・ **沿海地方、ウラジオストクへの統制強化**：ウラジオストクでのAPEC開催、連邦の大規模投資による極東開発が固まる中、**検察や連邦保安局などによる沿海地方政府、ウラジオストク市政府への大規模な捜査開始**。刑事告発された政府幹部は2007年で26名に上る。2007年2月、ウラジオストク市の**ニコラエフ市長が職権濫用の罪で逮捕**。2008年5月には、**ダリキン知事**が汚職疑惑に関連して自宅や執務室の捜査を受ける一方、ウラジオストク市長選で中央が推した**ブシカリョフ**が当選。ただしダリキン知事は2010年1月に再任決定。

### 2013年までの極東ザバイカル地域発展プログラム（再改訂版）の承認（2007年11月）

#### ・「再改訂版」プログラムの特徴

- ・ プログラムの目的…アジア太平洋地域における「**ロシア連邦の地政学的利益と安全保障**」を考慮した形で、「極東ザバイカル経済の優先的分野の発展のために必要なインフラと好適な投資環境を形成する」。
- ・ 当初の予算では、全支出における**連邦予算からの負担の割合が約75%**を占める。特に**輸送インフラ及びエネルギーインフラ**の整備が挙げられ、これらに予算の大部分が割り当てられる。
- ・ 2012年にAPEC開催が予定されている**ウラジオストク市の開発に関するサブプログラム**が支出の約26%を占めた。商業・金融部門、輸送・ロジスティック部門、産業部門、学術・教育部門の一大センターの建設を目的とする。
- ・ **地域発展省**が、プログラム実施に当たっての「コーディネーター」となる…プログラムの計画・実施・モニタリング・修正など全般にわたる責任と、各省庁の活動を調整する役割が託される。

#### ・その後のプログラムの修正

- ・ 2008年8月のプログラムの改訂で**ウラジオストクのサブプログラムの予算が倍増**（ルースキー島への橋の建設支出を増額「極東連邦大学」建設予算を組み入れ）全体の予算の約4割。
- ・ **金融危機を経た後もプログラムの支出規模や連邦予算からの支出額はほぼ維持**。2009年12月にはウラジオストクサブプログラムに「サハリン・ハバロフスク・ウラジオストク天然ガスパイプライン」建設費用も組み入れられ（ただし予算外資金からの負担）予算規模はさらに増大。

### 2025年までの極東バイカル長期発展戦略の承認（2009年12月）

極東地域に関する「戦略的計画」。従来の「極東ザバイカル地域」にイルクーツク州が加わる。

#### ・地域発展の戦略的目的

- ・ **発展した経済と快適な居住環境**の形成、及び**ロシア平均レベルの社会経済発展**を達成することを通じて、**住民を定住させる**という地政学的課題の達成。

#### ・東部地域にロシアの政治的・経済的関心のベクトルを移していくことによる経済的・地政学的利益

- ・ ロシア経済の**基本的財政形成部門（石油・天然ガス等）の販売市場の地理的多角化**を保障する
- ・ 極東バイカル地域に対する**国家の経済的・政治的な影響力**の低下を予防する
- ・ 同地域からの**住民のさらなる流出**の脅威を予防する。
- ・ **国際的なトランジット貨物**がロシアを迂回する方向に転換することを予防する。
- ・ 資源の**加工産業**の生産、**高い付加価値の生産物・商品・サービス**を生産する企業が他国に移転することを予防する。

・「戦略」に含まれる方向性

- ・ **エネルギー・輸送**など、地域発展を妨げる制約の克服と地域経済の急速な発展の条件創出に向けた**インフラ整備**。
    - ・ **輸送インフラ**：**国際輸送回廊**の形成、各地の経済成長地帯や北東部をはじめとする新たな開発地域をつなぐ域内及びロシア他地域との輸送網の整備。シベリア横断鉄道・バム鉄道をはじめとする鉄道網、ウラジオストク空港・ハバロフスク空港・イルクーツク空港の国際拠点空港としての開発、道路・港湾の整備、コンテナ輸送施設の整備など。
    - ・ **エネルギーインフラ**：**「東シベリア・太平洋」石油パイプライン**と視線を含むパイプライン網の整備。サハリン・サハ・イルクーツクの天然ガス生産と地域内各地を結ぶ**ガス供給システム**の建設。イルクーツク・サハ・沿海におけるヘリウム生産とガス化学・ガス精製施設建設など。
    - ・ **情報・通信インフラ**：オハ（サハリン）とマガダンを結ぶ海底光ファイバーケーブルなど地域内の通信インフラの整備。サハリン・沿海と日本を結ぶ高速通信回線など、隣接地域との国際高速通信網の構築。
  - ・ **天然資源加工産業**の発展、宇宙分野や航空・造船・エネルギーの分野など、**高度な科学技術プロジェクトにおける需要を満たすイノベーション的志向を持った企業の発展**。
  - ・ 新たな製品の開発の**イノベーション研究センター**や**テクノパーク**、及び技術・マーケティング研究と結びついた**教育・学術センター**の創設と発展...ウラジオストクに新設の極東連邦大学をはじめとする**教育センター**の発展。
  - ・ 好適な居住環境を保障するための、教育・医療・社会保障・文化・体育・住宅などの**社会インフラ**の近代化。
  - ・ 所有権の保護、行政的な障壁などの**投資家・企業家のリスクの引き下げ**、**国家サービスの質の向上**などのための制度を早急に整備する。
  - ・ **観光業**の発展。イルクーツクやプリヤーチヤ、沿海地方などを含む極東バイカル地域の観光ルートの形成による、北東アジア諸国からの観光客の誘致など。
- ・ 中国東北・モンゴルとの国境協力並びにその他の北東アジア諸国との経済協力
- ・ アジア太平洋地域において急速に進んでいる統合プロセスに、価値のある形で参入することが必要。天然資源輸出よりも、**高い付加価値を持った製品の輸出**の割合を増やす。
  - ・ 対外協力を含む極東地域の発展のためには、**生産される商品・サービスの競争力の強化**とその**多角化**が必要。税制や公共料金に関する政策についての法的基礎の形成、国際市場で競争力を持つ革新的な製品を生産をする企業のための有益な環境の形成、商品・サービスの認証、原料生産から高度技術生産への移行のための産業コンプレックスの特化と多角化。
  - ・ 国際的な標準に見合った**輸出に向けた強いハイテク生産拠点と大規模な研究センター**を創設することが必要。高度なレベルの加工生産の発展、教育・学術への投資、ハイテク発展のため地域の大規模な学術センターの創設。
  - ・ 北東アジア市場への出口を確保するための**輸送・ロジスティックス**のインフラ整備。輸出入品の国境通過を速めるための条件の創出。
  - ・ 国境地域間の協力は、**対外貿易の効率的な構造**の形成を通じて、高いレベルの社会経済発展と住民生活の質を保障し、住民の定住を促すことを目的とする。国境地域経済の多角化を促す。国境地域間経済的・文化的・人的交流の発展・拡大。経済・輸送・エネルギー・住宅・エコロジー・人口等の問題の共同解決。

「2025年までの極東ザバイカル長期発展戦略」における見通し

・ GDPにおける各産業の割合

		2005	2010	2015	2020	2025
鉱工業	極東地域	30.15	32.1	28	28	28.7
	バイカル地域	25.9	24.7	24.5	26	26.7
建設	極東地域	11.8	11.2	15.8	17.1	16
	バイカル地域	5.8	8.3	9.5	11.9	12.3
農業	極東地域	5.5	5.1	4.6	4.5	4.3
	バイカル地域	8.8	6.9	6.3	5.2	5.1
輸送	極東地域	14.4	13.2	14	14.6	15
	バイカル地域	23.45	21.7	21.8	24.4	24.6
その他	極東地域	38.15	38.4	37.6	35.8	36
	バイカル地域	36.05	38.4	37.9	32.5	31.3

## ・各産業における GDP (100 万ルーブル：現行価格)

		2005	2010	2015	2020	2025
鉱工業	極東地域	213895	430730	844160	1626177	2738539
	バイカル地域	121457	204467	392159	737355	1302265
建設	極東地域	40699	101303	217957	449664	799027
	バイカル地域	20107.7	67447	155069	323500	552368
農業	極東地域	35975	72774	125662	218061	357075
	バイカル地域	35325	48547	89369	141264	239803
輸送	極東地域	113652	239052	529361	1102678	1900822
	バイカル地域	88291	150581	298336	587730	1005659
その他	極東地域	297485	682439	1302615	2206090	3600325
	バイカル地域	137475	276885	551261	882367	1446645

## ・経済における年平均就業者数

		2005	2010	2015	2020	2025
就業者数 (千人)	極東地域	3265.6	3390.8	3452.8	3544.1	3648.1
	バイカル地域	2061.3	2003.3	2025	2026.5	2039.2
雇用率 (%)	極東地域	78.7	80.6	87.2	89.8	90.3
	バイカル地域	68	70.3	75.4	78.4	79

## ・エネルギー消費 (百万 kWh)

		2005	2010	2015	2020	2025
総需要	極東地域	39839.3	44495.3	58264.1	73265.8	81964.3
	バイカル地域	64800	68358	84969	96225	110130
鉱工業	極東地域	12827.9	14907.1	23105	32974.9	37562.9
	バイカル地域	37864	39758	51364	59171	68258
建設	極東地域	649.5	973.7	1009.9	1279.3	1639.8
	バイカル地域	500	764	1058	1413	1602
農業	極東地域	652.4	663.6	712.7	781	866.6
	バイカル地域	670	625	641	704	772
輸送	極東地域	4834.3	5109.9	6272.5	7308.6	8008.3
	バイカル地域	6174	6706	7745	8364	9554
その他の産業	極東地域	7479.8	8694.7	10629.4	11609	12806.4
	バイカル地域	6935	7451	8772	9283	11164
住民による消費	極東地域	5553.3	6440.1	7596.3	8884.3	10226.9
	バイカル地域	5934	6463	7459	8771	9418
ロス	極東地域	7842.1	7706.3	8938.3	10428.7	10853.5
	バイカル地域	6723	6592	7931	8519	9362

## ・社会経済発展の基本指標

	2005	2009	2010	2015	2020	2025
住民一人当たりの月収 (千ルーブル)	8.9	14.3	19	31	49	66
住民の実質収入の伸び (前年比: %)	-	110.4	112.5	112.7	112.2	110.8
住民一人当たりの住宅面積 (m <sup>2</sup> )	13	16	19	23	28	32
未整備の住宅に住む住民の割合 (%)	26.2	24.9	24.3	22.1	19.2	17.8
連邦的意義を持つ大教育センターの数	2	3	4	7	10	10
住民一人当たりの保健支出 (ルーブル)	5051	7663.4	7663.4	10326	12519	15177
文化領域における専門人員の保障レベル (%)	67	74	83	92	100	100
スポーツ学校の保障 (ロシア平均に対する割合: %)	5.2	-	5.8	6.4	6.9	7.3
鉱工業製品に占めるイノベーション製品の生産割合 (%)	6.2	7.3	8.9	11.6	13.7	16
1000 km <sup>2</sup> あたりの舗装道路の長さ(km)	8	8.7	9	10	11.5	12.9
1000km <sup>2</sup> あたりの鉄道の長さ(km)	1.8	1.9	2	2.3	2.6	3

# Дальневосточный федеральный округ

## Транспортные коридоры

- Международный евроазиатский транспортный коридор(Основной)
- Международный Евроазиатский транспортный коридор Транссиб (перспектива на 2010 г.)
- Внутренние водные пути
- Северный морской путь

## Крупнейшие агломерации

- Владивосток (Большой Камень, Артем, Находка, о.Русский)
- Хабаровская агломерация (Комсомольск-на-Амуре)

## Индустриальные и агропромышленные центры

- Metallurgical production and production of finished metal products
- Other production
- Production of coke, oil products and nuclear materials
- Chemical production
- Production of food products
- Production of machines and equipment
- Wood processing and production of wood products
- Cellulose and paper production; publishing and printing activities

## Зоны инновационного развития и создания высоких технологий

- Scientific and educational centers
- High-tech production

## Территории освоения природных ресурсов

- Extraction of useful minerals - diamonds and gemstones
- Extraction of fuel and energy-bearing minerals
- Extraction of water resources
- Processing of forest resources
- Extraction of other useful minerals(except common ones)

## Портовые и иные транспортно-логистические узлы

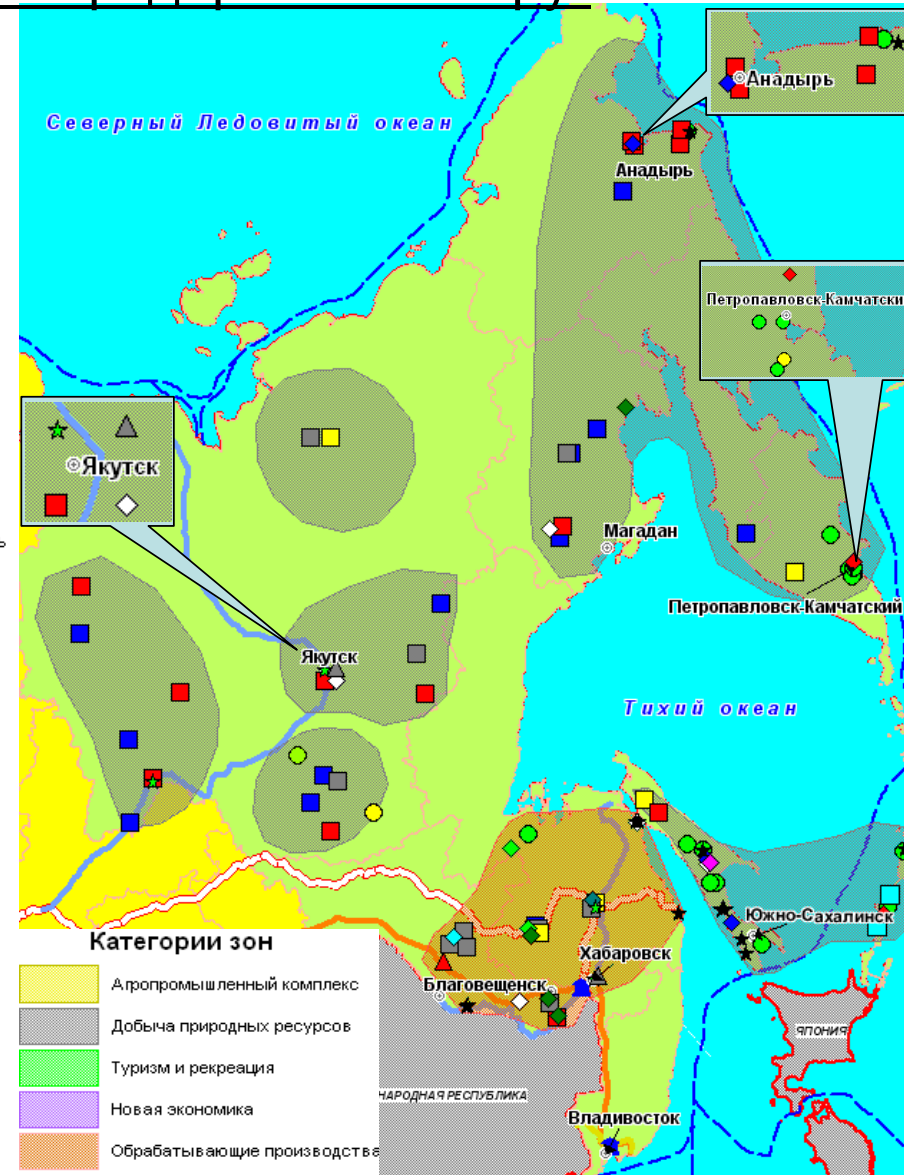
- River and sea ports, port zones
- Transport-logistics nodes
- Points of passage through the border
- Port and other transport-logistics nodes

## Туристско-рекреационные, культурные центры

- Territory of tourism and recreation development
- Sanatoriums and resorts

## Сельское хозяйство

- Agricultural territory and agro-industrial complex



出所) Проект Концепции совершенствования региональной политики в Российской Федерации («ロシア連邦の地域政策の完全化のコンセプト」草案)  
<http://archive.minregion.ru/WorkItems/ListNews.aspx?PageID=536>